

令和5年度第1回生涯学習推進協議会
会議要旨

議 事

(1) 第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の実施状況について

事務局が令和4年度の第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の実施状況について説明した。

(2) 委員の推薦について

京田辺市複合型公共移設整備基本計画構想検討懇話会委員の推薦案について説明し、委員が推薦者を承認した。

(3) 生涯学習推進協力員制度の見直しについて

資料の内容について、事務局より説明

(委 員) 協力員を知らない人が多いので、本格的に見直して欲しい。

(委 員) 自分の地域にだれがいるか資料に載せて欲しい。

(委 員) 協力員は研修を受けて欲しい。協力員がいるところに見に行きたい。

(事務局) 現在協力員は委嘱していない。協力員の活動とは何かは地域ごとに異なるので、要綱の改正案は抽象的に記載している。協力員の活動内容については、各区・自治会に依頼するとき、「こんな活動をしている人」としたい。

(委 員) 研修会、講習会受講者の中から協力員を出してはどうか。

(事務局) 生涯学習事業は地域によって異なるが、地域の事業を中心に取り組む人を選出して欲しい。何かに精通している人ではない。行政で生涯学習事業を縛ると固い感じになる。全地域から選出がないかもしれない。協力員が形骸化することは避けたい。

(委 員) 区・自治会に協力員を選出して欲しいと依頼するのか。

(事務局) 制度改正の周知を行い、協力員を推薦して欲しいことを伝える。

(会 長) 今協力員が機能していないので、抜本的に制度を見直さなければならぬ。協議会委員が入ってもよいので、事務局が制度を集中的に見直しして欲しい。

(委 員) 要綱は本部会議で考えるものでないのか。今何を議論しているのか。

(事務局) 改正案についての意見を議論してもらう。

(委 員) 区・自治会に依頼すると充て職になるのでは。市が募集するのも一つかと思う。

(事務局) ご意見を今後参考にしていく。まちづくり協議会が出来た時、協力員をやりたい人がいたら情報提供をする。協力員が増えたら情報交換の場を持つ。協力員には自主的に活動してもらいたい。ご意見をもらいながら、協力員制度を運用していきたい。形骸化するのは避けたい。

(会 長) 事務局で抜本的に見直しを進めてください。